

# チャペル週報

だから、明日のことまで思い悩むな。  
明日のことは明日自らが思い悩む。  
その日の苦勞は、その日だけで十分である。  
(マタイによる福音書 6:34)



2006.11.7~11.10 No.19  
関西学院宗教センター

---

## チャペル・スケジュール

---

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

---

- 11月7日(火) 院 嶺 重 淑 (神学部専任講師)  
神 『詩編』シリーズ 中道基夫 (神学部助教授)  
文 Andreas Rusterholz (宣教師)  
社 ヒューマンサービスセンターの活動から  
法 音楽チャペル 関西学院バロックアンサンブル  
経 人間を考える 大洞公平 (経済学部専任講師)  
商 福 井 幸 男 (商学部教授)  
総 村 上 芳 夫 (総合政策学部教授)
- 
- 11月8日(水) 神 中 村 悦 子 (M2)  
社 人権を考える特別チャペル 長尾文雄 聖マーガレット生涯教育研究所主任研究員)  
法 Christian M. Hermansen (宣教師)  
経 人間を考える 増永俊一 (経済学部教授)  
商 バロックアンサンブル巡回音楽チャペル  
理 「理工学部生諸君へ!!」小林昭雄 (名誉教授・元理学部宗教主事)  
総 本 田 盛 (総合政策学部教授)
- 
- 11月9日(木) 神 木 村 弘 美 (M2)  
文 Ruth Grubel (宣教師)  
法 音楽チャペル Power Of Voice (ゴスペルクワイア)  
経 人間を考える 神崎高明 (経済学部教授)  
商 林 隆 敏 (商学部教授)  
総 中 野 幸 紀 (総合政策学部教授)
- 
- 11月10日(金) 神 『詩編』シリーズ 神田健次 (神学部教授)  
文 English Chapel Thomas G. Rice (文学部英語講師)  
社 共に生きる 打樋啓史 (宗教主事)  
経 舟 木 讓 (宗教主事)  
商 上ヶ原八ビタットによるチャペル  
理 「ウィーン少年合唱団の想いで」松木真一 (宗教主事)

---

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20~8:40 於:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)  
11月10日(金)社会学部のために Alan Brady  
総合政策学部早天祈祷会 毎水曜日 午前8:40~ 於 I号館312教室

---

## 郊外型古本屋の対極にあるもの 聖和大学の書票展を見て

岡 國 太 郎

先日写真家の森本二太郎さん（自然をモチーフにした写真家：次年度に氏の写真展が吉岡記念館で開催される予定）が聖和大学の大学祭での講演会講師として来られた。長野在住の氏とは旧知の仲であり、当日は氏と学院で落ち合い聖和大学まで同道した。今般、学院と聖和大学との合併が論議されており、私自身学院に奉職して22年が経過するものの、はじめての聖和大学への訪問となった。

校門には聖和大学の担当者が森本氏を出迎えのために待っておられた。私はそこで森本氏と別れて大学祭の見物でもしようとしたら、是非にとも勧められ応接室に招き入れられた。応接室では茂純子聖和大学理事長同席で昼食をとりながら歓談の時を持った。その席上、茂理事長から図書館で「書票展」が開催されていることをお聞きし、帰途「書票展」会場に出向いた。

会場は混雑するほどではなく、ゆっくりと見て回ることができた。「書票」とは「蔵書票」とも呼ばれ所有者の名前を刻した小さな紙片である。世界的には「エクスリブリス（EX-LIBRIS）」と呼ばれ、その歴史も長く、各所有者が版画家に依頼して各自の好みを取り入れて作らせたオリジナルデザインの書票は隠れた人気を呼び、コレクターも数多くいるそうだ。会場に展示された内外の書票は実に個性豊かなデザインで所有者の趣味趣向をうかがい知ることができ、アートとしての「書票」を存分に楽しむことができた。

日本の「書票」には「愛書」と記されているものも多くあり、それらを見ていくうちに一つの感慨が頭の中を巡ってきたのだった。それは「書票」の所有者が持つそれぞれの本に対する深い愛着を強く感じるとともに、「書票」の世界は、現在の日本でもはやされている郊外型古本屋に見られる「本は消耗品」という感覚と対極的な位置にあるということだ。すなわち、昨今の「使い捨て消費文化」の中で失われつつある「ものを大切にすること」を小さな紙片が教えてくれたような気がした。

（「書票展 蔵書票の魅力」は11月7日まで。問い合わせは聖和大学図書館へ）

（千刈キャンプ事務長）

## 関西学院のクリスマス関連行事

学部合同アドベント・チャペル(上ヶ原キャンパス)

12月1日(金) 10:35~11:05 中央講堂

KSCクリスマス・オルガンコンサート

12月4日(月) 12:45~13:25 KSCランバスチャペル

アドベント礼拝 クリスマスツリー点灯

12月4日(月) 18:30

西宮上ヶ原キャンパス 中央芝生

神戸三田キャンパス KSCランバスチャペル

ランバス演奏会「クリスマスコンサート」平井満美子(うた)&佐野健二(リユート)

12月5日(火) 17:00 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

KSCクリスマス・オルガンコンサート

12月8日(金) 12:45~13:25 KSCランバスチャペル

大学合同クリスマスチャペル

12月11日(月) 10:20~11:20

上ヶ原キャンパス 中央講堂

神戸三田キャンパス 理工学部チャペル

関西学院バロックアンサンブル・クリスマスコンサート

12月11日(月) 18:30 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

オルガンコンサート「サウンド・オブ・クリスマス」

12月12日(火) 16:50 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

大阪梅田キャンパスクリスマス

12月13日(水)

コンサート 17:00 アプローズタワー1Fガレリア

クリスマス礼拝 18:00 アプローズタワー14F

関西学院クリスマス礼拝 音楽で祝う降誕

神戸三田キャンパス 12月7日(木) 18:30 号館201

上ヶ原キャンパス 12月15日(金) 17:00 中央講堂

関西学院聖歌隊キャンドルライトサービス

12月19日(火) 18:00 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

「メサイア」コンサート 関西学院聖歌隊

12月20日(水) 18:00 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール

12月21日(木) 18:30

### 聖書の植物(12) 野の花

イエスが山上の説教で、栄華を極めたソロモンとの対照で言われた「野の花」(マタイ6:29)は、ギリシア語ではクリノンである。これは、旧約聖書において「ゆり」と訳されているシウジャン(ショージャンナー)の七十人訳の訳語である。山上の説教は、新改訳では「野のゆり」と訳され、英語の訳でも多くはlilies of the fieldと訳されている。しかし、このクリノンは実際のゆりより広い範囲の植物を指し、アネモネのことであるというのが有力な説である。

アネモネは、キンボウゲ科イチリンソウ属の多年生草本で、茎高15~30cmで、4~5月頃赤色、ピンクなどいろいろの色の花をつける。花は直径4~8cmで、花びらの基は黒っぽく、周りは白い。パレスチナの至る所に生育し、平原に多く、特にガリラヤ湖畔に美しく咲く。花は朝開き、夕方近くなると閉じてしまう。

ゆりは、ユリ科ユリ属の多年草で、旧約聖書では美や繁栄の象徴として出てくる(雅歌2:1,4:5,ホセア14:6など)。これはマドンナ・リリーと言われるもので、白い花をつけ、キリスト教では純潔の象徴とされ、受胎告知によく描かれる。

なお、吉岡記念館横の「ベルスクエア」に植えられている「野の花」は、アネモネとカサブランカ、テッポウユリである。